

学校課題研究概要

1. 今年度の研究の方向性について

算数（算数の教科研究 3年次）

(1) 研究主題

「基礎・基本の確実な定着を図る算数指導」

基礎・基本とは

さいたま市の学校教育 推進の指針・指導の努力点「算数」より

《基礎・基本》

- ◇数量や図形についての知識及び技能
- ◇ものごとの関係やきまりを見付けたり、筋道を立てて考えたり表現したりする能力
- ◇活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、生活や学習に生かそうとする態度

※基礎学力・・・これだけは身につけさせたい基礎的・基本的事項

「日常生活において、また学習を円滑に進める上で不可欠であり、各教科で確実に身につけておきたい内容」

(2) これまでの研究成果と児童の実態について（平成26・27年度研究紀要参照）

1年次

○成果

(1) 授業研究を通して

- ・算数の授業の基本的な流れ（①導入・見通し②自力解決③比較検討④まとめ⑤定着・活用）や指導方法を職員で共有することができた。

(2) 専門部

(基礎学力定着部)

- ・さんすうタイムを設定（3学期より）意図的・計画的に取り組むことができた。

(学習環境部)

- ・算数に関する掲示や各教室の算数コーナーの充実を図ることができた。

(実態調査部)

- ・算数が得意だと思える児童が増えてきた。

2年次

(1) 授業研究を通して

- ・問題解決的な学習の流れが定着してきた。
→既習事項を意識させることができた。発表意欲が向上した。

(2) 専門部

(基礎学力定着部)

- ・さんすうタイムが定着した。（技能面のみならず意欲の向上にもつながった。）
- ・問題解決的な学習の流れを整理することができた。

(学習環境部)

- ・学習教材、校内環境の整備を継続して行うことができた。

(実態調査部)

- ・各種学力調査から児童の実態把握を行い、指導に生かすことができた。
- ・教師の算数の授業における意識調査を行い、研究協議で議論し深めることができた。

●課題・次年度へ向けて

- ・ノート指導 ・発問 ・練り上げ ・言語活動

(3) 今年度の研究の重点

目指す授業像

「できる」「わかる」授業

今年度の重点

言語活動の充実

- ①算数的活動を充実させ、実感を伴った理解を図る。
- ②児童が既習と関連付けて考えられるような指導の工夫。(見通し、練り上げ)
- ③式、言葉、図、半具体物の操作などを、それぞれ関連付けて、説明できる力を高める。

今年度の重点の具体的な手立て《例》

①算数的活動を充実させ、実感を伴った理解を図る。 ※算数的な活動・・・26年度紀要p35. 3

- ・教材・問題提示を工夫する。(児童に必要感をもたせる。)
- ・具体物(半具体物)を用いて調べたり、考えたりできるようにする。(児童の実態に応じて)

②児童が既習と関連付けて考えられるような指導の工夫。(見通し、自力解決)

- ・児童に問い(あれ?なんでだろう?)を引き出す教材・問題提示を工夫する。
- ・児童の問いを課題設定・解決の見通しにつなげる。
- ・児童から引き出した問いを「あっこうすればできそう!」につなげ解決の見通しをもたせる。
- ・問いかけ形式の助言・支援で児童の「あ、そうか!わかった!」を引き出す。
- ・ヒントカード、小集団指導でつまづいている児童への指導を効率的に行う。

③式、言葉、図、半具体物の操作などを、それぞれ関連付けて、説明できる力を高める。(自力解決、練り上げ)

- ・答えに至る過程を大切にする。
- ・多様な表現を用いて解決するよう支援・助言する。トライアングル思考・表現の充実(それぞれの表現のよさを感じさせながら)

平成28年度 研究全体構想図

学校教育目標

- ◇みんなと協力する子 《徳育》
- ◇自分の力で考える子 《知育》
- ◇心身ともに健康な子 《体育》
- ◇人との関わりを大切にす子 《響育》

児童の実態

学習状況
調査

生活習慣
アンケート

基礎・基本の確実な定着を図る算数指導

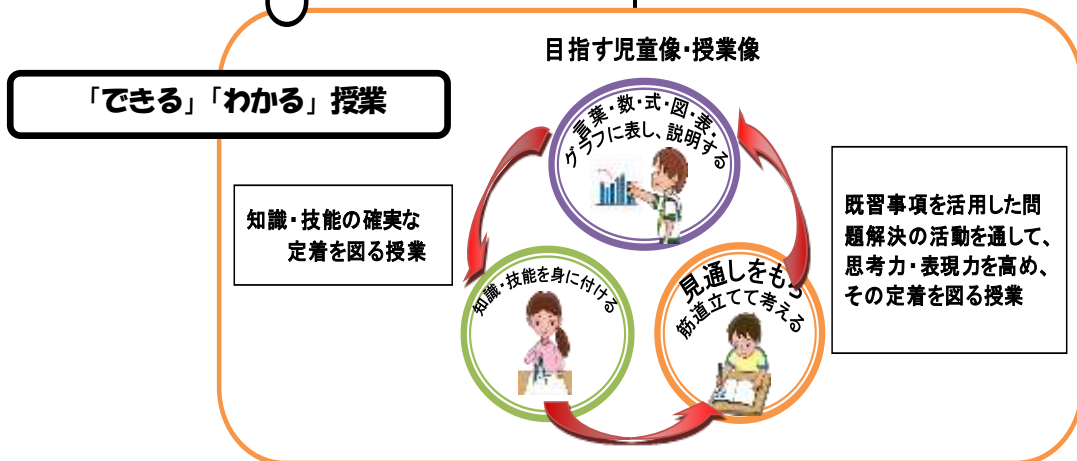
《与野西北小学校の基礎・基本》

- ◇数量や図形についての知識及び技能
- ◇ものごとの関係やきまりを見付けたり、筋道を立てて考えたり表現したりする能力
- ◇活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、生活や学習に生かそうとする態度

教師の願い

基礎学力の向上

自分の考えをもち、伝えられる子どもの育成



今年度の重点

- 「できる」「わかる」授業を展開し、児童の意欲を高める。
- 算数的活動を充実させ、実感を伴った理解を図る。
- 児童が既習と関連付けて考えられるような指導の工夫。（見通し、練り上げ）
- 式、言葉、図、半具体物の操作などを、それぞれ関連付けて、説明できる力を高める。

学年

- 題材の基礎・基本の明確化
- 基礎・基本を確実に定着させるための手立て
- 日々の授業による実践の積み上げ
- 系統性を重視した教材研究
- 児童の思考が進む、深まる発問の探究



算数部

- さんすうタイム
- 校内環境の充実